




琉球大学学術リポジトリ

成人におけるモラキセラ・カタラーリスによる市中肺炎の臨床的特徴：単一施設における後方視的研究

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学 公開日: 2021-05-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Hirai, Jun, 平井, 潤 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/48489

(別紙様式第 7 号)




論文審査結果の要旨

報告番号	課程博 * 第 号	氏名	平井 潤
論文審査委員	審査日	令和 3 年 2 月 15 日	
	主査教授	松 崎 吾 朗	
	副査教授	久木田 一朗	
	副査教授	高橋 達 造	
<p>(論文題目) Clinical characteristics of community-acquired pneumonia due to <i>Moraxella catarrhalis</i> in adults: a retrospective single-centre study (成人におけるモラクセラ・カタラーリスによる市中肺炎の臨床的特徴；単一施設における後方視的研究)</p> <p>(最終試験結果の要旨)</p> <p>1. 研究の背景と目的： <i>Moraxella catarrhalis</i> (MC) は、成人市中肺炎 (community-acquired pneumonia、CAP) の主要な原因菌の一つであるが、MC を原因菌とする CAP (MC-CAP) の臨床症状・画像所見に関する情報は限られている。CAP として最も頻度が高い肺炎球菌 (<i>Staphylococcus pneumoniae</i>, SP) による SP-CAP 症例との比較を行い、MC-CAP の特徴を明らかにすることが本研究の目的である。</p> <p>2. 研究結果： 2013 年 5 月から 2018 年 4 月までに沖縄県立宮古病院に入院した 20 歳以上の MC-CAP 患者 134 人と SP-CAP 患者 130 人に対して、後方視的解析を行った結果、以下の所見が得られた：MC-CAP 症例は SP-CAP 症例に比べ、①季節性が認められ、冬季に発症が多かった。②より高齢で発症し、基礎疾患として喘息・気管支拡張症・慢性心不全・慢性腎不全が有意に多かった。③インフルエンザウイルスとの共感染が有意に低かった。④画像所見では、気管支肺炎パターン多く、両側性・区画性の分布が多く、胸水は認められなかった。また、喀痰グラム染色は MC-CAP 症例の原因菌の推定に有用であり、その結果、初期治療にはペニシリン系抗菌薬が多く使用されていた。</p> <p>3. 研究の意義と学術的水準： 以上の結果から、MC-CAP 症例は冬季に多く、喘息や気管支拡張症などの基礎疾患を有する高齢者が罹患しやすく、インフルエンザウイルス共感染が少ないこと、両側肺に区域性の気管支肺炎像を呈する傾向があることが明らかとなった。また、SP-CAP 同様に MC-CAP 症例の診断には喀痰グラム染色が有用であり、狭域抗菌薬の選択につながることも示唆された。 本論文は、CAP 症例に対して、臨床症状と画像診断および喀痰グラム染色結果から MC を原因菌として推定し、その後の治療方針を決定する上での基礎的情報として、臨床的に意義のある研究と考えられた。</p> <p>以上の結果から、本論文は学位授与に十分値するものと判断した。</p>			

- 備 考
- 1 用紙の規格は A 4 とし縦にして左横書きとすること。
 - 2 要旨は 800～1200 字以内にまとめること。
 - 3 *印は記入しないこと。

(別紙様式第8号)

最終試験結果の要旨

報告番号	課程博 * 第 号	氏名	平井 潤
論文審査委員	審査日	令和3年2月15日	
	主査教授	松崎 吾朗	
	副査教授	久木田 一朗	
	副査教授	高橋 健造	印 
(最終試験結果の要旨)			
<p>大学院博士課程の最終試験は口頭による公開討論によって行い、以下の点について確認した：</p> <p>① 提出論文の内容と意義についてよく把握していること、</p> <p>② 研究の目的と方法について熟知していること、</p> <p>③ 研究結果を正しく理解していること、</p> <p>④ 研究に関連した文献をよく理解していること、</p> <p>⑤ 研究結果の展望について明確な見解を有していること。</p> <p>よって、大学院博士課程を修了するに値する学力を有するものと判定し、最終試験を合格とした。</p>			

- 備考 1 用紙の規格はA4とし縦にして左横書きとすること。
2 *印は記入しないこと。